

SharpShooter Reports.WinRT (XAML) 基本的な使い方

Last modified on: June 10, 2014

目次

はじめに	3
システムの必要条件	3
I. Visual Studio でのプロジェクト作成	3
Ⅱ.サーバー側のプロパティ設定	4
レポートサービスの作成	6
サンプルのデータソースの作成/追加	7
レポートサービスの設定 レポートテンプレートの作成	10
Ⅲ クライアント アプリケーションの設定	14
コンポーネントの追加	14
許可の設定	16
アプリケーションの実行	

はじめに

このユーザーガイドは、SharpShooter Reports.WinRT を使ったシンプルなレポートの作成/表示方法 について説明し、コンポーネントを使えるようになるための基本情報を提供します。サーバー側の プロジェクトとクライアント側の Windows ストア アプリケーションの作成手順を説明していきま す。サービスの作成と設定を行い、最後にアプリケーションのページにレポートビューアコンポー ネントを組み込む方法を説明します。

システムの必要条件

プロジェクトの開発前に、以下がインストールされていることを前提としています。

- Microsoft Visual Studio 2012 またはそれ以上
- サーバー側のプロジェクトには.NET Framework 3.5 またはそれ以上 クライアント側のプロジェクトには.NET 4.5 またはそれ以上
- ASP.NET 2.0 またはそれ以上
- SharpShooter Reports.WinRT 6.5 またはそれ以上
- Microsoft Windows 8

I. Visual Studio でのプロジェクト作成

 Visual Studio で新規の Windows ストア プロジェクトを作成するには、[ファイル] タブで [新 規作成] -> [プロジェクト] を選択し、表示されたウィンドウの左側ツリーの「Windows スト ア」を選択し、「新しいアプリケーション(XAML)」をクリックして新規のプロジェクト テンプレートを作成します。

「名前」ボックスに、「SampleApplication」というプロジェクト名を設定し、「OK」ボタンを押してウィンドウを閉じます。



次に、ソリューションにサーバー側のプロジェクトを追加する必要があります。これを行うには、[ファイル]メニューの[追加] -> [新規プロジェクト]を選択します。表示されたウィンドウの左側ツリーから「Web」を選択し、「Asp.NET 空の Web アプリケーション」を選択します。プロジェクト名を「SampleApplication.Web」に設定し、「OK」ボタンを押してウィンドウを閉じます。

			新しいプロジェクト		7 💌
▶ 最近使用したファイル	-	.NET F	Framework 4.5 。 並べ替え基書: 既定	• 17 E	インストール済み テンプレート の検索 (Ctrl 👂・
▲ インストール済み		51	ASRNET 空の Web アプッケーション Visual C#		種類: Visual C#
▲ テンプレート ▶ Visual Basic ▲ Visual C#	Î	5	ASP.NET Web フォーム アプリケーション	Visual C#	Web ユーザー インターフェイスを含むアプリケー ションを作成するための空のプロジェクトです。
Windows	217	51	ASRNET MVC 3 Web アプリケーション	Visual C#	
Web P Office		51	ASP.NET MVC 4 Web アプリケーション	Visual C#	
Cloud Reporting		∰	ASRNET 動約テータエンティティ Web アプリケーション	Visual C#	
SharePoir Silverlight	it.	御	ASPINET AJAX サーバーコントロール	Visual C#	
WCF Windows	Phone	Ð	ASRNET AJAX サーバー コントロール エクステンダー	Visual C#	
Workflow 9721- 10 Visual C++ Windows Ins 10 Visual F# SQL Server 10 72542	taller XML.	御	ASRNET ザーバー コントロール	Visual C#	
名前(N):	SampleApplica	tion.Web	1		
場所(L):	C:¥				参照(<u>B</u>)
ソリユーション(<u>S</u>):	ソリューションに調加	0			
ソリューション名(M):					図 ソリューションのディレクトリを作成(D) □ ソース管理に追加(U)
					0K ##>12%

II.サーバー側のプロパティ設定

サーバー側のプロジェクトのプロパティ設定を開くには、ソリューションエクスプローラの 「SampleApplication.Web」プロジェクトを右クリックし、コンテキストメニューから「プロパティ」 を選択します。

000	G 4 @ B 0 - 0	
901-587 IA	7.プローラー の検索 (Ctrl+:)	
■ ソリューSa ■ Samp ● チ Pr ● チ Pr ● ● As ● ■ Co ● 口 Ap ● D Ap ●	 ン SampleApplication (2 プロジェクト) pleApplication operties 明設定 sets mmon p.xaml App.xaml App.xaml App.xaml アリンド(E) カリーン(N) 発行(B) コード分析の実行(0) プラウザーで表示 (Internet Explorer)(B) 	
VVI-SeS I!	Web アプリケーションに変換	Ctrl+K, Ctrl+G
プロパティ SampleAppl 맨 말 분 분 SSL URL	ここまで検索(S) 部 新しい ソリューション エクスプローラー のビュー(N) コード メドリックスを計算する(C) プロシェクト依存物係(S) プロシェクトのビルド順序(1)	
SSL 4300 URL Windows 服 デバッグ時にに プロジェクト フ プロジェクト フ	 追加(D) 参照の追加(R) サービス参照の追加(S) MuGet パッケージの管理 	•
マネージ パイ 匿名認証	 マラスタイパクラムに表示(V) スタートアッププロジェクトに設定(A) デバッグ(G) 	,
	翻 ソリューションをソース管理に追加(A)	
	 ※ 切9取り(T) ☆ №50(1)(0) ※ 期除(V) ※ 名前の変更(M) 	Ctrl+X Ctrl+V Del
SSL URL サイトのセキュリ	プロジェクトのアンロード(L)	
	ぐ エクスプローラーでフォルダーを聞く(X)	
	♪ プロパティ(R)	Alt+Enter

表示されたウィンドウの「Web」タブを選択し、[Visual Studio 開発サーバーを使用する] と [ポート を指定する] にチェックが付いているか確認し、[ポートを指定する] の値として「5555」を入力し ます。ファイルメニューの [選択された項目を保存する] をクリックしてプロジェクトのプロパテ ィを保存し、「プロパティ」ウィンドウを閉じます。

アプリケーション ビルド	構成(C): 該当なし ∨
Web*	ブラットフォーム(M): 該当なし v
Web のパッケージ化/発行 SQL のパッケージ化/発行	作業ディレクトリ(W)
Silverlight アプリケーション	○ URL の開始(U)
EILF TROF	
リソース	○ ペーンを開かりに外部アノリケーションからの要求を得つ(国)
設定	サーバー
参照パス	✓ すべてのユーザーにサーバー設定を適用 (プロジェクト ファイルに格納) (A)
署名	● Visual Studio 開発サーバーを使用する(D)
コード分析	○ ポートの自動割り当て(<u>G</u>)
	 ・ポートを指定する(E) 55555
	仮想パス(日): /

レポートサービスの作成

 レポートサービスをサーバー側のコンポーネントとして追加します。 ソリューション エクスプローラの「SampleApplication.Web」を選択し、[プロジェクト] メ ニューの [追加] -> [新しい項目] をクリックします。表示されたウィンドウの左側のツリー から [SharpShooter Reports] -> [Silverlight & WinRT] を選択し、[Report Service Over HTTP (Silverlight & WinRT)] を選択します。コンポーネント名を「ReportService.svc」に設定し、 「追加」ボタンを押してコンポーネントをサーバー側のプロジェクトに追加します。

		新しい	興目の追加 - Samp	pleApplication.W	/eb			? ×
▲ インストール酒み	並べ替れ	B事: 民定	- 12	E		インストール	済み テンプレート の枝	信 (Ctrl 。P・
 Visual C# Web Windows Forms wpc 	Sec.	Report Service O Report Service O	ver HTTP & HTTPS (ver HTTP (Silverlight	Silverlight & WinRT) t & WinRT)	Visual C#	HEMI: Vi	sual C#	
マード コード データ 全般 Reporting ▲ SharpShooter Report Reports Templats Silverlight & Wind Web Silverlight Workflow ♪ オンライン	ts e RT	Report Service O	ver HTTPS (Silverlig)	it & WinRT)	Visual C#			
名前(N): Repor	rt5ervice,svc						道加(<u>A</u>)	キャンセル

2. ソリューション エクスプローラの「ReportService.svc.cs」ファイルを右クリックしてコンテ キストメニューを開き、「デザイナーの表示」を押してデザイン表示に切り替えます。

	ソリューション エクスプローラー	• 4 ×
	Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q	
	ソリューション エクスプローラー の検索 (Ctrl+:)	p-
		ジェクト) Key.pfx
\$	間((0)	1
	ノアイリンを開くアノリケーションの知識が(N)	
\diamond	コードの表示(C) F	7
6	デザイナーの表示(D) S	hift+F7
42	クラス ダイアグラムで表示(V)	
	ここまで検索(5)	
ġ,	新しい ソリューション エクスプローラー のビュー(N)	
×	削除(D) D	el
×	プロパティ(R) A	lt+Enter

サンプルのデータソースの作成/追加

レポートにデータを表示する必要があります。ここではコードで記述した、型指定のないデータソースを使用しますが、実際のレポートでは.Net Framework でサポートされている任意のデータソースをお使いいただけます。

データ構造を設定するために、ツールボックスの「データ」タブから「DataSet」を選択し、ダブ ルクリックして追加します。

「データセットの追加」ウィンドウの「型指定のないデータセット」を選択し、「OK」ボタンを クリックします。



PERPETUUM software

> 追加した「dataSet1」を選択し、プロパティグリッドの「*Tables*」プロパティのボタンをクリック してテーブル コレクション エディタを開きます。「追加」ボタンをクリックしてテーブルを追加 し、*TableName* プロパティを「SampleData」に設定します。

	1-216-2	~,,,	/32 I) 19-		-	プロパティ	
メンバー(M):		Sar	mpleData プロパティ(I	P):		dataSet1 System	1.Data.DataSet
0 SampleData		4	その他		^	≣ ₽ ₽ F	ş.
			CaseSensitive	False		(Name)	dataSet1
			Locale	ja-JP		CaseSensitive	False
			RemotingFormat	Xml		DataSetName	NewDataSet
			データ			EnforceConstrai	True
			Columns	(コレクション)		GenerateMemb	True
			Constraints	(コレクション)	-	Locale Modifiers Namespace Prefix	日本語(日本)
			DisplayExpression				Private
			MinimumCapacity	50			
			Namespace				
			Prefix			Relations	(コレクション)
			PrimaryKey	DataColumn[]		RemotingForma	Xml
	×		TableName	SampleData		Tables	(コレクション)
2	~		デザイン	and the second			
追加(A)			(Name)	dataTable1	~		
		-				Tables	
				閉じ	3	この DataSet のテー	ブルを保持するコレクション

Columns プロパティのボタンをクリックして列コレクション エディタを開きます。「追加」ボタン をクリックしてテーブルに列を3つ追加し、*ColumnName* プロパティをそれぞれ「氏」、「名」、 「電話番号」にします。各列の *DataType* プロパティが「System.String」に設定されていることを確 認してください。

メンバー(M):		電:	活番号 プロパティ(P):		
0氏		4	その他		~
1名			ColumnMapping	Element	
2 电話番号			データ		
	In the second		AllowDBNull	True	
			AutoIncrement	False	
		Au	AutoIncrementSe	0	
			AutoIncrementSte	1	
			Caption	電話番号	
			ColumnName	電話番号	
			DataType	System.String	
			DateTimeMode	UnspecifiedLocal	
			DefaultValue	<dbnull></dbnull>	
	×		Expression		
	1.4.3.1		MaxLength	-1	
追加(A)			Namespace		~

レポートにデータを表示するには、データソースを追加する必要があります。これを行うには、 ReportService.svc.cs ファイルをコード表示で開き、サービスクラスの OnLoadData メソッドを次のよ うにオーバーライドしてください。

```
protected override void OnLoadData(
   System.Collections.Generic.IDictionary<string, object> parameters,
   string reportName, PerpetuumSoft.Reporting.Components.ReportSlot reportSlot)
{
   base.OnLoadData(parameters, reportName, reportSlot);
   dataTable1.Rows.Clear();
   dataTable1.Rows.Add(new object[] { "正門", "恵子", "(0482)24-19XX" });
   dataTable1.Rows.Add(new object[] { "正門", "恵子", "(0425)25-05XX" });
   dataTable1.Rows.Add(new object[] { "田中", "和明", "(0425)37-00XX" });
   dataTable1.Rows.Add(new object[] { "围中", "和明", "(0425)37-00XX" });
   dataTable1.Rows.Add(new object[] { "葛城", "孝史", "(03)3714-75XX" });
   dataTable1.Rows.Add(new object[] { "秋山", "秀樹", "(03)3705-36XX" });
}
```

レポートサービスの設定 レポートテンプレートの作成

アプリケーションでレポートを作成/使用するには、アプリケーションに ReportManager コンポー ネントを追加する必要があります。ReportManager は、レポートテンプレートを格納するために使 用され、さまざまなレポート編集/生成機能があります。

1. ReportManager コンポーネントを貼りつけるには、ReportService.svc.cs ファイルをデザイン 表示に切り替えて、ツールボックスの ReportManager をダブルクリックして追加します。

ツールボ	ካሳス ·····	$^{\texttt{q}}$ ×	ReportService.svo	c.cs [デザイン]* 😐 🗙
ツールボ	シクスの検索	- م		P
⊿ Sha	' rpShooter Reports	-	🖻 dataSet1	🗓 reportManager1
k	ポインター			
- <mark>11</mark>	ReportManager			
	DesignerDataSourcesTree			
	DesignerDocumentTree			
0	DesignerErrorList			
	DesignerPropertyGrid			

2. プロパティウィンドウの「ReportService」プロパティのドロップダウンリストから 「reportManager1」を選択します。

プロパティ	- ņ	×
ReportService PerpetuumSe	oft.Reporting.Silverlight.Server.ReportServiceBase	
 □ その他 		
ImageDPI	96	
ReportCache		
ReportManager	reportManager1	¥
ThumbnailSize	(なし)	
日 デザイン	reportManager1	
(Name)	ReportService	

 追加した ReportManager コンポーネントをダブルクリックしてエディタを開き、「データ ソース」タブに行き、「追加」ボタンを押します。データソース名を「SampleData」に設 定し、データソースの値として「dataSet1.SampleData」を選択し、「OK」ボタンをクリッ クします。



	ReportManager エディタ	-	
レポート データソ	7-7		
データバインドー	-覧		
	オブミェクトタの編集		
オブジェクト名	SampleData		
值	dataSet1SampleData アータソースのみ		
	ОК	4	1.4r(1
28940743	(四十/円) 取(四年/円)		
1旦/JU(A)	特許(地)(ヒ) 門(1)(ホ(レ)		
	OK		キャンセル

 次に、「レポート」タブに行き、「追加」ボタンをクリックし、「InlineReportSlot」を選択 します(InlineReportSlot はアプリケーションコードでシリアル化されたテンプレートを提 供します)。

e Re	portManager エディタ	-		×
レポート データソース				
	21 21 1			
追加(A) 前除(D) デザイナの記約				
FileReportSlot	07		4.57	
InlineReportSlot	ŬK.		19/	en
UriReportSlot				

5. 追加したスロットに SampleReport という名前を設定し、「デザイナの起動」をクリックしてレポートデザイナを開きます。

e Re	portManager エディタ	×
レポート データソース		
inline ReportSlot1 Report name = SampleReport 前原(<u>A</u>) 育明除(<u>D</u>) デザイナの起動	* #0f# Document ExceptionMode ReportName ReportScriptType * #1/2 (Name) GenerateMember Modifiers	Document Warning SampleReport PerpetuumSoft.Reporting.Rende inlineReportSlot1 True Private
		OK ++>tell

6. 新しい白紙のテンプレートを作成するには、[ファイル] ->[新規]を選択し、ウィザードギャ ラリから「白紙の C# のレポート」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

B	ョウィザード ギャラリ	83
	新規保存	
	白紙の C# のレポート	
	白紙の Visual Basic のレポート	
	標準のレポート	
	ピボットテーブルレポート	
	ウィザードの読込 OK キャンセル	

7. テーブルウィザードを使用してテーブルを簡単に作成できます。それには、[挿入] タブの 「Table」ボタンをクリックします。



8. 手順3で作成した「SampleData」をデータソースに選択し、リストから利用可能なすべて のフィールドを追加します。「次へ」を押して [レイアウトの種類] で「リスト」を選択し、 「氏」と「名」をソートするフィールドとして選択します。

SampleData		-		
明田司新たフィール	k	200 EDI .15-	77-11.K	
E.	1.	ARESTONIC	21 101	
名				
電話番号		>		
		>>		
		ee		
			次へ > :	キャンセル
テーブル ウィザ	-ĸ		次//>	キャンセル
!テーブル ウィザ データソース: Sample	-F eData		次//> :	キャンセル
ミテーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名	ード eData フィールドタイトル	昭篇 (cm)	次<>> : 集計開数	++>U1
:テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏	ード eData フィールドタイトル 氏	幅 (cm) 6.17	次<>> : 集計開数	\$#>UL
・テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏 名	ード eData フィールドタイトル 氏 名	15篇 (cm) 6.17 6.17	次<>> : 集計開数	\$#>UL
・テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏 名 電話番号	ード eData フィールドタイトル 氏 名 電話番号	幅 (cm) 6.17 6.17 6.17	次へ> : 集計開数	\$+>U1
テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏 名 電話番号	ード eData フィールドタイトル 氏 名 電話番号	幅 (cm) 6.17 6.17 6.17	次へ> : 集計開数	++>U1
:テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏 名 電話番号	ード eData フィールドタイトル 氏 名 電話番号	幅 (cm) 6.17 6.17 6.17	次//> : 集計開数	fr>tı
:テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏 名 電話番号	ード eData フィールドタイトル 氏 名 電話番号	陽 (cm) 6.17 6.17 6.17	次<>> : 集計開数	fr>tı
!テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏 名 電話番号	ード eData フィールドタイトル 氏 名 電話番号	R篇 (cm) 6.17 6.17 6.17	<u>次</u> へ> : 集計開数	++>U
:テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏 名 電話番号	ード eData フィールドタイトル 氏 名 電話番号	7篇 (cm) 6.17 6.17 6.17	<u>次</u> へ> : 集計開数	++>U1
:テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏 名 電話番号	ード eData フィールドタイトル 氏 名 電話番号	7幅 (cm) 6.17 6.17 6.17	次<>> : 集計開数	++>U1
:テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏 名 電話番号	ード eData フィールドタイトル 氏 名 電話番号	幅 (cm) 6.17 6.17 6.17	<u>次</u> ∧> : 集計開数	++>t/1
:テーブル ウィザ データソース: Sample フィールド名 氏 名 電話番号	ード eData フィールドタイトル 氏 名 電話番号	₩ (cm) 6.17 6.17 6.17	<u>次</u> ∧> : 集計開数	++>t/1

テーリソース: sampleData 利用可能なフィールド		フィールドごとにソート		
電話番号		フィールド名	ソート方向	
		氏	Ascending	
		名	Ascending	
	>> < <<			

9. [ホーム] タブの [スタイル コレクション] から「SimpleGrey」を選択してレポートの見栄え を整えます。

🛤 🗟 📑 - 🛛 Texti	document1 - SharpShooter Reports デザイナ		- 8 🗙
アイル ホーム 挿入 レイアウト 表示 ドキュメント 形式			11-ジン情報
 ▲ オブシェクトの切り取り(h) ▲ オブシェクトの可じた=(C) ▲ オブシェクトの可能(h) ▲ オブシェクトの削除(h) ■ / 単 ▲ ▲ ▲ 	A75 · C C Aab	3bCcD AaBbCcD AaBbCcI + 23 Nght1 Hghight2 Header1 = Sim	スタイルの 編集 イル コレクション spleGrey ・
グリップボード フォント	14 位置合わせ 外続	2.91% Sim	ipleGrey ^
textBoscemprevatezt //4/> Value (* 32	ana.	Car	toon
1 1 1 1 2 1 3 1 4 1 1	1 6 1 7 1 8 1 9 1 10 1 11 1 12	1 13 1 14 1 15 Def	fault 18 r
dataBandSampleData:DataBand DataSource = San	pleData	Fire	rRed
headerSampleData:Header		Gla	morousViolet
·氏	.名	電話番号 이내	AP IBook
detailSampleData:Detail			
工 <getdata("sampledata.氏")></getdata("sampledata.氏")>	≖ <getdata("sampledata.名")></getdata("sampledata.名")>	GetData("SampleDat	a.電話番号")>
end of dataBandSampleData		dission in the first starting	and the second second second second

10. (CTRL+Sを押すか、[ファイル]->[保存]を使用して)変更を保存してデザイナを閉じ、 ReportManagerの「OK」ボタンを押します。これでサーバー側の設定は終わりです。

III クライアント アプリケーションの設定

コンポーネントの追加

PERPETUUM software

> ソリューション エクスプローラのクライアント アプリケーションの [参照設定] を右クリッ クして、コンテキストメニューから [参照の追加] を選択します。

בעע	ーション エクスプローラー	• 4 ×
0	୍ ର ୧୦ ୩ ୩ ୬ ସ	
בעע	ーション エクスプローラー の検索 (Ctrl+:)	p.
4	ソリューション 'SampleApplication' (2 プロジェクト) 画 SampleApplication ゆ Properties	Î
	▲ ● 参照設定	_
	参照の追加(K)	
	サービス参照の追加(S)	
苗	NuGet バッケージの管理	
	ここまで検索(S)	
1	新しい ソリューション エクスプローラー のビュー(N)	

2. 「Windows\拡張」タブから SharpShooter Reports.WinRT を選択します。

	参照マネージャー - SampleAp	plication	· · · · · ·
▶ アセンブリ	フィルターの適用先: SampleApplication に該当する SDI	ĸ	Windows の検索 (Ctrl+E) 。 ゆ・
▶ ソリューション	名前	バージョン	名前:
✓ Windows	Microsoft Visual C++ Runtime Package Microsoft Visual Studio Test Core	11.0	SharpShooter Reports.WinRT
コア 転通 最近使用したファイル ▶ プラウズ	MSTest for Managed Projects SharpShooter Reports.WinRT	11.0 7/1.0.0	7.1.0.0 詳細語報
		参照(B) OK キャンセル

3. MainPage.xaml に、下記コード(黄色の部分)を追加します。

```
< Page
```

```
x:Class="SampleApplication.MainPage"
xmlns="http://schemas.microsoft.com/winfx/2006/xaml/presentation"
xmlns:x="http://schemas.microsoft.com/winfx/2006/xaml"
xmlns:local="using:SampleApplication"
xmlns:d="http://schemas.microsoft.com/expression/blend/2008"
xmlns:mc="http://schemas.openxmlformats.org/markup-compatibility/2006"
xmlns:reporting="using:PerpetuumSoft.Reporting.WinRT.Client"
mc:Ignorable="d">
<Grid Background="{StaticResource ApplicationPageBackgroundThemeBrush}">
```

```
ServiceUrl="http://localhost:5555/ReportService.svc"
```



```
ReportName="SampleReport" />
       </Grid>
   </Page>
4. MainPage.xaml.csを開き、次のコード(黄色の部分)を追加します。
   public sealed partial class MainPage : Page
   {
       public MainPage()
       {
           this.InitializeComponent();
          Loaded += MainPage_Loaded;
       }
       private void MainPage_Loaded(object sender, RoutedEventArgs e)
       {
          reportViewer.RenderReport();
       }
   }
```

許可の設定

アプリケーションを実行する前に、許可を設定する必要があります。

「Package.appxmanifest」をダブルクリックしてマニフェストデザイナを開きます。



このコンポーネントは、トースト通知を使用してエクスポートの処理情報を提供します (トースト通知とは、画面に表示されるポップアップ通知メッセージです)。トースト通 知を有効にするには、「アプリケーション UI」タブを押し、[トースト対応] を「はい」に 設定します。上述のタブが表示されない場合は、[ビジュアル資産] タブの [すべてのイメー ジ資産] が選択されているか確認してください。

	PERPETUUM
G	software

アプリケーション U	I 機能	2 2	パッケージ化	
()h:				
r:	Assets¥Logo.png			×
				必要なサイズ: 150 x 150 ピクセル
ידם או				×
				必要なサイズ: 310 x 150 ビクセル
:כםעי	Assets¥SmallLogo.p	ong		×
				必要なサイズ: 30 × 30 ビクセル
い名前:				
前の表示:	1007×1			
展テキスト:	淡色			
震色:	#464646			
ka:				
i≶ ⊡⊐:				×
				必要なサイズ: 24 x 24 ビクセル
スト対応:	はい	•		
ALC: NO.	(Stateday)			

アプリケーションのアクセスを有効にするには、プライベートネットワークは[機能]タブの[プライベートネットワーク]にチェックを入れます。 Package.appxmanifest* + X MainPage.xaml* MainPage.xaml.cs* =

アプリケーションの配置パッケージのプロパティはアプリケーション デザイナーを使って 1 つ以上のプロパティの設定または変更!	マニフェスト ファイルに格納されます。マニフェスト と行うことができます。
アプリケーション UI 機能 宣	こ パッケージ化
このページを使用して、アプリケーションで使用できるシステム	の機能またはデバイスを指定します。
機能:	·[明]:
 □ ドキュメント ライブラリ □ エンタープライズ認証 ☑ インターネット (クライアント) □ インターネット (クライアントとサーバー) □ 場所 □ マイク □ 音楽ライブラリ □ 画像ライブラリ ☑ ブライベート ネットワーク (クライアントとサーバー) □ 近振 □ リムー/(ブル記憶域 □ 共有ユーザー証明書 □ ビデオ ライブラリ □ Web カメラ 	S証されたドメイン コントローラーがあるか、ユーザ ット ネットワークに、著信および発信アクセスでき 「。 詳細
4	•

アプリケーションの実行

サンプルの用意ができて両方のプロジェクトが同時に動くよう設定されているか確認して ください。これを行うには、ソリューション エクスプローラの「SampleApplication」ソリ ューション コンテナを右クリックし、表示されたコンテキストメニューから [プロパティ] タブを選択してください。

עע	la-3	a> 19270-5-	•	Ψ×
C	0	G 0-0 P		
55	12-3	ペン エクスプローラー の検索 (Ctrl+:)		p.
5	L V	コーション 'SampleApplication' (2 プロジェクト)		
-	*	ソリューションのビルド(B)	F6	
	1 ション エクスプローラー 2 ション エクスプローラー の検索 (Ctrl+:) 2 ション エクスプローラー の検索 (Ctrl+:) 2 リリューション (SampleAppleation) (2 プロショント) 3 リリューションのビルド(B) 9 リリューションのジビルド(R) 9 リリューションのジビルド(R) 9 リリューションの配置(D) 9 リリューションの配置(C) 9 リリューションのNuGet /(ッケージの管理(S) 10 NuGet /(ッケージの優元の有効化 10 和の文字・グロクジェクトのの 10 エード メトリックスを計算する(C) 10 プロジェクトのどルド順季(1) 10 加(D) 10 スタートアッププロジェクトの設定(A) 10 ソリューションをソース管理に過加(A) 10 パワーラーでフォルダーを聞く(X) 10 プロパティ(R)			
		ソリューションの配置(D)		
		ソリューションのクリーン(C)		
		ソリューションでコード分析を実行(Y)	Alt+F11	
		バッチ ビルド(T)		
		構成マネージャー(0)		
	菌	ソリューションの NuGet パッケージの管理(5)		
	13	NuGet パッケージの復元の有効化		
1	67	新しい ソリューション エクスプローラー のビュー(N)		
		コード メトリックスを計算する(C)		
		プロジェクト依存陽係(5)		
		プロジェクトのビルド順序(I)		
		追加(D)		
	Ф	スタートアップ プロジェクトの設定(A)		
У	詞	ソリューションをソース管理に追加(A)		
九	a	貼り付け(P)	Ctrl+V	ĸ
Si	X=	名前の変更(M)		-
81	\$	エクスプローラーでフォルダーを聞く(X)		
8	ş	プロ/(ティ(R)	Alt+Enter	-

ソリューションの SampleApplication プロパティ ウィンドウの左側のツリーから [スタート アップ プロジェクト] を選択し、[マルチ スタートアップ プロジェクト] にチェックを付け て、両方のプロジェクトの [アクション] パラメータを「開始」に選択します。「OK」ボタ ンをクリックして変更を適用し、ウィンドウを閉じます。



	ソリューション 'SampleApplication'	プロパティページ	? 🗙
-满成(⊆): N/A	✓ プラットフォーム(E): N/A	~ 構成で	ネージャー(<u>Q</u>)
 共通プロパティ スタートアッププロジェクト プロジェクト低存間係 コード分析設定 デバッグ ソース ファイル 	 ○現在の選択(U) ○ シングル スタートアッププロジェクト(S) SampleApplication 	v	
▶ 構成プロパティ	(1) プロジェクト	アクション	•
	SampleApplication	開始	
	SampleApplication.Web	開始	~ ·
		ОК ‡ т>±л	遼用(<u>A</u>)

F5 ボタンを押してプロジェクトを実行します。正しく行っていれば、アプリケーションが 実行され、生成されたレポートにはプロジェクトの作成時に入力したデータが表示されま す。

